

MSM向けの、コンドームを使うための「100の方法」の活用方法

保健所・保健センター等において、HIV抗体検査の陰性結果告知や、HIVについての質問や相談を受ける面談場面は性行動への振り返りやリスク行動を減らすための働きかけが個別にできる絶好の機会です。

このリーフレットはそんな時に有効に使える資料として作成しました。

HIVの感染リスクや予防の必要性、その方法などについて、知識はあるのに実際の場面になるとコンドームをうまく使用できない、というMSMは少なくありません。そこで、「コンドームを使いましょう」を結論とせず、もう一歩進んで「どうしたら実際に使えるか」をこのリーフレットを用いて検討できると、介入効果をより高めることができます。

具体的なやりとりの例

…ということで、コンドームの使用がHIV予防に有効であることはおわかりですよね？

ウケの人(=被挿入者)への導入の例

でも実際の場面では、相手に使ってほしくてもなかなか言い出せないようなことはありませんか？

タチの人(=挿入者)への導入の例

でも実際の場面では相手から『使わなくていいよ』とか『使わない方が気持ちいい』と言われたりすると、使いにくい、とおっしゃる方もありますが、あなたのご経験ではいかがですか？

そういう時、どう言ったらいいか迷って、結局『(使わなくても)まあいいや』となることもあるのでは？

そんな場面で、他の(ゲイ・バイセクシュアル男性の)方たちはどんな言い方や方法でコンドームを使っているのか、その実例を集めて作ったのがこのリーフレットなんです。参考までに、ちょっとご覧になってみませんか？

パンフレットを拡げて見せる。タイトルをいくつか紹介する。

〇〇…というのものもあるし、* *…というのもありますよ。興味あるところだけでも読んでみて下さい。

どうでしょう？あなたがご自分でも使えそうな言い方、ありますか？これはいいな、と思う言い方や方法はありますか？あなたにとってこれならしっくりくるな、と思える言い方はどれでしょう？

どれかを選択したら

あ、なるほど、……ですね？これなら言えそう(やれそう)な感じですか？なるほど、そういう風に言えたらいいですね。ではこの言い方(方法)を心に留めておいて、今度そういう機会があったら、ぜひ実践してみてください。

気になった項目、これがいいと選んだ項目にしるしをつけて、受検者が拒否しなければ最終的にこのリーフレットを手渡し持ち帰ってもらう

上記のようなやりとりが不可能な場面の際は…

少なくとも

このパンフレットは、セックスの際にコンドームを使いやすくするための言い方や方法について、ゲイ・バイセクシュアル男性の方々の実験の体験をアンケートで聞いて作ったものです。あなたの参考になるような方法が見つかるかもしれませんので、後でゆっくり読んでみて下さい。

と言い添えて、手渡しして下さい。